

分娩時出血量の関連因子に関する臨床研究へのご協力のお願い

研究責任者：泉大津市立周産期小児医療センター病院 産婦人科部長 田中和東

研究担当者：産婦人科 医長 粟津祐一朗

当院産婦人科では、硬膜外麻酔下の経膣分娩における分娩時出血量の関連因子を明らかにすることを目的とした後方視的臨床研究を実施しています。本研究は当院倫理審査委員会の承認を受けて実施します。研究の実施に際して患者さんに新たな負担が生じることはありません。プライバシー保護は法令・指針に基づき適切に行います。当研究へ協力を望まれない方は、下記「8 お問い合わせ」へお申し出ください。お申し出により診療上の不利益が生じることはありません。

1 対象となる方

2018年4月1日～2022年12月31日の間に当院で硬膜外麻酔下で経膣分娩をされ、診療記録・分娩記録が保管されている方。

2 研究課題名

硬膜外麻酔下分娩時出血量の関連因子の同定に関する後方視的研究

3 研究の目的

分娩時出血量と関連する臨床因子（出産歴、分娩時間、出生体重、器械分娩の有無、等）を明らかにし、出血リスクの高い症例の早期把握と安全対策立案に資することを目的とします。

4 ご協力をお願いする内容

診療のために既に作成・保管されている診療録・分娩録・新生児記録を用いて、統計学的に解析します。新たな検査・受診・費用は発生しません。

[取得する情報の例]

- 患者背景：年齢、身長、体重、妊娠出産歴
 - 分娩情報：分娩時間、分娩方法（器械分娩の有無・種類）など
 - 児情報：出生体重、在胎週数など
 - 主要評価項目：分娩時出血量（mL）
- ※個人が特定される情報は解析に使用しません。

5 研究の実施期間

倫理委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで（予定）。

6 プライバシーの保護について

研究対象者を識別できる情報（氏名等）は研究用 ID に置き換えて管理し、第三者に個人が特定されない形で結果を報告します。学会・論文等で公表する際も個人が特定される情報は一切用いません。院内規程に基づき、適切な情報管理・廃棄を行います。

7 研究の実施体制

研究実施場所：泉大津市立周産期小児医療センター 産婦人科

研究責任者：産婦人科部長 田中和東

研究担当者：産婦人科 医長 粟津祐一朗

8 お問い合わせ

本研究に関するご質問、情報利用停止（オプトアウト）をご希望の場合は、上記責任者または担当者までご連絡ください。

※すでに研究成果の一部が公表済みの場合、該当部分の廃棄・訂正が困難なことがあります。

（作成年月：2025 年 12 月）